

ときめきの瞬間



患者の心に 希望の灯を

11月2日(火)

土岐医師会准看護学校の第44期生戴帽式が、セラトピア土岐で行われました。この日を迎えた34人の生徒は、先生から男性は白いハンカチを胸に、女性は頭上にナースキャップを戴いた後、ナイチンゲール像にともる看護の灯火を受け継ぎ、看護の志を新たにしました。



元気な笑顔 いつまでも

11月4日(木)

曾木町内で暮らす65歳以上の独り暮らしのお年寄りなどに楽しんでもらおうと、市社会福祉協議会曾木支部による、曾木町福祉のつとめが開かれました。招待された18人のお年寄りは、同町福祉委員手作りのお弁当を食べたり、曾木小学校の子どもたちのオペレッタなどを鑑賞し、楽しい時間を過ごしました。



ポールを両手に リズムよく

11月7日(日)

総合公園で市民健康ウォーキングが開催され、子どもからお年寄りまで約50人が参加しました。今年は、2本のポール（ストック）を使って歩くことで効果的な運動が得られる「ノルディックウォーキング」も取り入れられ、参加者はポールを手に、思い思いのペースで園内を歩きました。

表紙の一枚 心に響くハーモニー

11月14日・21日(日)

第39回土岐市民音楽祭が2週にわたり文化プラザで開催され、合唱・合奏・吹奏楽・バンドの部に合わせて30団体約810人が出演しました。14日に行われた合唱・合奏・吹奏楽の部では、オカリナや琴が奏でる音色、透き通るような歌声、吹奏楽団の迫力ある演奏で、会場は盛り上がりました。

